

【令和7年】東広島市の主な出来事

No.	月	概要(タイトル)	内容	担当部局
1	1月	庁用スマートフォンの個人配備	スマートフォンを活用した更なる業務の効率化・市民サービスの向上を目的として、庁用スマートフォンを1人1台となる様に個人配備をした。	総務部
2	3月	東広島市高屋情報ラウンジ「あったかや」開館	J R西高屋駅2階南北自由通路に併設して「高屋図書館」と地域交流拠点が一体となった複合施設「高屋情報ラウンジ『あったかや』」が開館した。	生涯学習部
3	3月	西高屋駅南北自由通路及び橋上駅舎完成	西高屋駅南北自由通路及び橋上駅舎が完成し、3月21日から供用開始した。	都市交通部
4	3月	第五次東広島市総合計画後期基本計画の策定	東広島市の最上位計画である「第五次東広島市総合計画」において、令和7年度から始まる後期期間における現状及び課題を踏まえ、施策の方向性並びに主な取組を総合的に整理した「第五次東広島市総合計画 後期基本計画」を策定した。	総務部
5	5月	東広島市史先行編（酒編・教育編）を刊行	市制施行50周年の節目に、本市の近現代史の特色である「酒」と「西条独創教育」をテーマに市史先行編を刊行した。	生涯学習部
6	6月	東広島市太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例の制定	太陽光発電事業と周辺地域との調和を図るため、良好な景観の形成、環境の保全及び災害の防止を図り、もって市民の安全と安心及び地域社会の発展に寄与することを目的に条例を制定した。	生活環境部
7	8月	平和・非核兵器都市東広島市宣言40周年	平和・非核兵器都市東広島市宣言から40周年を迎えたことを記念し、東広島市原爆被爆資料保存推進協議会と共に「原爆展 Peace Week」を開催した。 広島新生学園園長 上栗哲男氏とNHKアナウンサー 出山知樹氏の対談をはじめ、様々なイベントを行った。	総務部

【令和7年】東広島市の主な出来事

No.	月	概要(タイトル)	内容	担当部局
8	8月	原田康夫氏、山内吉治氏を名誉市民として顕彰	原田康夫氏（元広島大学長）及び山内吉治氏（元東広島市教育委員会教育長）を18人目、19人目の東広島市名誉市民として顕彰した。	総務部
9	9月	マイクロンメモリジャパン（株）が大型投資を発表	吉川工業団地に立地するマイクロンメモリジャパン（株）が約1兆5,000億円の大型投資を行い、経済産業省から最大5,360億円を支援することが公表された。また、それに伴い、9月22日に次世代学園都市形成推進本部を発足した。	総務部 産業部
10	10月	広島大学グローバルラーニングセンターの開所	「東広島市と国立大学法人広島大学とのグローバル人材育成支援に関する覚書」を締結し、これに合わせて、スズキ株式会社がコーポレートパートナーとして参画し、新たなグローバル人材育成拠点「グローバルラーニングセンター（G L C）」が広島大学内に開所した。	総務部
11	10月	令和7年産かきの大量へい死の発生	本市の水産業の中核を担う養殖かきにおいて、過去に例のない規模のへい死被害が発生した。影響を受けたかき養殖業者への支援として、12月からクラウドファンディング型ふるさと納税を実施し、全国の応援の声を届けるとともに、事業の継続を支え、安心して漁業が営める環境づくりを実施した。	産業部
12	11月	住所変更手続きの「書かない窓口」の開始	住所変更に伴う異動手続きで、職員が申請内容を聴き取りながらシステムにて申請書を作成する「書かない窓口」を開始した。運用開始に伴い、市民課の窓口のリニューアルをおこなった。	総務部 生活環境部
13	11月	IWC2026「SAKE部門」ひろしま開催に係る基本合意書を締結	広島県酒造組合、広島県、東広島市を含む関係市町で構成されるIWC2026「SAKE部門」ひろしま実行委員会と、IWC Events Limited（英国）との間で、世界最大級の酒類品評会であるInternational Wine Challenge「SAKE部門」を令和8年5月に東広島市において共同開催することについて、基本合意書を締結した。	産業部